

平成29年12月21日

各 位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL：03－5208-5211)

上場E T F (管理会社：シンプレクス・アセット・マネジメント)に関する日々の開示事項

シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社を管理会社として上場するETF銘柄について、以下のとおり平成29年12月20日の状況をご報告します。

上場ETF銘柄(15銘柄)

掲載番号	銘柄名	銘柄コード	上場取引所
1	WTI原油価格連動型上場投信	1671	東証
2	Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信	1679	東証
3	JASDAQ-TOP20上場投信	1551	東証
4	マザーズ・コア上場投信	1563	東証
5	TOPIXブル2倍上場投信	1568	東証
6	TOPIXベア上場投信	1569	東証
7	中国H株ブル2倍上場投信	1572	東証
8	中国H株ベア上場投信	1573	東証
9	日経平均ブル2倍上場投信	1579	東証
10	日経平均ベア上場投信	1580	東証
11	TOPIXベア2倍上場投信	1356	東証
12	日経平均ベア2倍上場投信	1360	東証
13	JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)	1467	東証
14	JPX日経400ベア上場投信(インバース)	1468	東証
15	JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)	1469	東証

*各銘柄の状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以 上

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1671)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『WT I 原油価格連動型上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

14,503,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

35,973,901,144 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,480 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.06 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 指標の特徴や留意点等

○原資産等の価格を利用する指標との差異
対象指標は、現物の原油価格ではなく、原油先物取引の価格を参照しています。原油先物取引の価格には、保管コスト（コスト・オブ・キャリー）等が反映されることにより、現物の原油価格を参照する場合と比べて投資成果が下回るおそれがあります。

○ロールオーバーに伴う損益について
対象指標を構成する原油先物取引において、通常、限月間に保管コスト等を反映した価格差があります。期近の先物価格よりも期先の先物価格が高くなっていく順軌の状態（以下「コンタンゴ」といいます。）において、保管コスト等を反映した先物価格の時間的価値が減価する場合には、次限月以降の限月への乗換え（以下「ロールオーバー」といいます。）に伴って損失が発生する場合があります。一方、期近の先物価格よりも期先の先物価格が低くなっていく逆軌の状態（「バックワーデーション」といいます。）においては、ロールオーバーに伴って収益が発生する場合があります。

○留意すべき投資スタイル（中長期的な投資）
コンタンゴの状態が多くなる場合等、ロールオーバーに伴う損失が累積すること等によって対象指標が減価するおそれがあるため、中長期的な投資を行う場合には留意が必要です。

○原油先物取引が限月の最終取引日近くなり、銘柄入れ替えを行う際に負担する売買コストが、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になる可能性があります。

○信託報酬等のコスト負担が、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になります。

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1679)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

31,000 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

790,611,518 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

25,504 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

以 上

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1551)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JASDAQ-TOP20上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

226,177 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

1,242,177,852 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

5,492 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以 上

JASDAQ-TOP20上場投信

	株価指数終 値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2017/10/20	5,255.97	-0.61%	5,305	-0.60%	0.01%	227,200	1,205,192,963
2017/10/23	5,316.50	1.15%	5,365	1.13%	-0.02%	222,041	1,191,285,147
2017/10/24	5,334.79	0.34%	5,383	0.34%	-0.01%	222,041	1,195,349,911
2017/10/25	5,330.95	-0.07%	5,380	-0.06%	0.02%	222,041	1,194,489,860
2017/10/26	5,390.02	1.11%	5,439	1.10%	-0.01%	222,041	1,207,634,701
2017/10/27	5,454.40	1.19%	5,503	1.18%	-0.02%	222,041	1,221,959,452
2017/10/30	5,458.47	0.07%	5,507	0.07%	0.00%	222,041	1,222,850,158
2017/10/31	5,499.55	0.75%	5,548	0.74%	-0.01%	222,041	1,231,979,956
2017/11/01	5,504.15	0.08%	5,553	0.09%	0.01%	222,041	1,233,027,316
2017/11/02	5,483.36	-0.38%	5,532	-0.38%	0.00%	222,041	1,228,397,198
2017/11/06	5,555.09	1.31%	5,604	1.30%	-0.01%	222,041	1,244,324,954
2017/11/07	5,594.37	0.71%	5,643	0.70%	-0.01%	222,041	1,253,057,147
2017/11/08	5,595.59	0.02%	5,645	0.04%	0.01%	222,041	1,253,325,332
2017/11/09	5,609.54	0.25%	5,659	0.25%	0.00%	222,041	1,256,425,503
2017/11/10	5,584.58	-0.44%	5,634	-0.44%	0.00%	222,041	1,250,869,680
2017/11/13	5,606.52	0.39%	5,655	0.37%	-0.02%	222,041	1,255,738,358
2017/11/14	5,473.08	-2.38%	5,522	-2.35%	0.03%	222,041	1,226,054,539
2017/11/15	5,350.49	-2.24%	5,399	-2.23%	0.01%	222,041	1,198,825,056
2017/11/16	5,440.85	1.69%	5,490	1.69%	0.00%	222,041	1,218,917,170
2017/11/17	5,459.26	0.34%	5,508	0.33%	-0.01%	222,041	1,223,009,370
2017/11/20	5,484.51	0.46%	5,533	0.45%	-0.01%	222,041	1,228,545,600
2017/11/21	5,544.37	1.09%	5,593	1.08%	-0.01%	222,041	1,241,831,038
2017/11/22	5,590.34	0.83%	5,639	0.82%	-0.01%	222,041	1,252,028,490
2017/11/24	5,633.64	0.77%	5,682	0.76%	-0.01%	222,041	1,261,607,239
2017/11/27	5,668.10	0.61%	5,716	0.60%	-0.01%	222,041	1,269,191,303
2017/11/28	5,631.85	-0.64%	5,680	-0.63%	0.01%	222,041	1,261,100,751
2017/11/29	5,659.11	0.48%	5,707	0.48%	-0.01%	222,041	1,267,138,172
2017/11/30	5,581.92	-1.36%	5,629	-1.37%	0.00%	222,041	1,249,943,622
2017/12/01	5,587.03	0.09%	5,635	0.11%	0.02%	222,041	1,251,095,115
2017/12/04	5,502.64	-1.51%	5,550	-1.51%	0.00%	222,041	1,232,247,377
2017/12/05	5,396.68	-1.93%	5,443	-1.93%	0.00%	224,798	1,223,659,529
2017/12/06	5,336.25	-1.12%	5,383	-1.10%	0.02%	224,798	1,210,024,911
2017/12/07	5,416.89	1.51%	5,463	1.49%	-0.03%	224,798	1,228,158,295
2017/12/08	5,492.79	1.40%	5,539	1.39%	-0.01%	224,798	1,245,222,532
2017/12/11	5,537.89	0.82%	5,584	0.81%	-0.01%	226,177	1,263,000,100
2017/12/12	5,489.05	-0.88%	5,535	-0.88%	0.00%	226,177	1,251,905,510
2017/12/13	5,435.74	-0.97%	5,482	-0.96%	0.01%	226,177	1,239,800,285
2017/12/14	5,424.23	-0.21%	5,470	-0.22%	-0.01%	226,177	1,237,165,364
2017/12/15	5,430.78	0.12%	5,476	0.11%	-0.01%	226,177	1,238,621,750
2017/12/18	5,480.92	0.92%	5,526	0.91%	-0.01%	226,177	1,249,902,072
2017/12/19	5,445.45	-0.65%	5,491	-0.63%	0.01%	226,177	1,241,839,285
2017/12/20	5,446.96	0.03%	5,492	0.02%	-0.01%	226,177	1,242,177,852

JASDAQ-TOP20上場投信(交換に係わる交換口数)

※交換申込日(平成29年12月22日)、交換受付日(平成29年12月22日)分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数 : 1,379口

JASDAQ-TOP20上場投信(設定ポートフォリオ)

※設定申込日(平成29年12月22日)、設定受付日(平成29年12月22日)分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	株式数
1	1407	ウエストホールディングス	100
2	2138	クルーズ	100
3	2362	夢真ホールディングス	100
4	2656	ベクター	100
5	2702	日本マクドナルドホールディングス	100
6	2706	ブロッコリー	1000
7	2782	セリア	200
8	3858	ユビキタス	100
9	4080	田中化学研究所	100
10	4239	ボラテクノ	200
11	4293	セブテーニ・ホールディングス	100
12	4348	インフォコム	200
13	4667	アイサンテクノロジー	100
14	4849	エン・ジャパン	100
15	6258	平田機工	100
16	6324	ハーモニック・ドライブ・システムズ	100
17	6425	ユニバーサルエンターテインメント	100
18	6769	ザインエレクトロニクス	100
19	6787	メイコー	100
20	6890	フェローテックホールディングス	100

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1563)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『マザーズ・コア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

271,845 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

1,059,371,628 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

3,897 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以 上

マザーズ・コア上場投信

日付	株価指数終 値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2017/10/13	3,857	-1.86%	3,813	-1.85%	0.01%	249,212	950,227,718
2017/10/16	3,795	-1.60%	3,752	-1.60%	0.00%	249,212	935,028,567
2017/10/17	3,786	-0.23%	3,743	-0.24%	-0.01%	249,212	932,840,829
2017/10/18	3,781	-0.13%	3,738	-0.13%	0.00%	249,212	931,565,737
2017/10/19	3,810	0.76%	3,766	0.75%	-0.01%	249,212	938,588,564
2017/10/20	3,783	-0.70%	3,740	-0.69%	0.01%	249,212	932,049,387
2017/10/23	3,874	2.40%	3,829	2.38%	-0.02%	249,212	954,259,763
2017/10/24	3,880	0.15%	3,835	0.16%	0.00%	249,212	955,714,101
2017/10/25	3,906	0.66%	3,860	0.65%	-0.01%	249,212	961,984,891
2017/10/26	3,892	-0.36%	3,846	-0.36%	0.00%	249,212	958,538,107
2017/10/27	3,903	0.30%	3,858	0.31%	0.01%	249,212	961,378,156
2017/10/30	3,884	-0.48%	3,839	-0.49%	-0.01%	249,212	956,733,015
2017/10/31	3,876	-0.21%	3,831	-0.21%	0.00%	249,212	954,763,586
2017/11/01	3,980	2.66%	3,933	2.66%	0.00%	249,212	980,090,103
2017/11/02	3,993	0.33%	3,946	0.33%	0.00%	249,212	983,319,210
2017/11/06	3,910	-2.07%	3,864	-2.08%	-0.01%	249,212	963,074,515
2017/11/07	3,920	0.24%	3,874	0.26%	0.02%	249,212	965,387,626
2017/11/08	3,936	0.41%	3,889	0.39%	-0.02%	249,212	969,275,139
2017/11/09	4,054	2.99%	4,006	3.01%	0.02%	249,212	998,379,411
2017/11/10	4,086	0.80%	4,038	0.80%	-0.01%	249,212	1,006,333,739
2017/11/13	4,049	-0.91%	4,001	-0.92%	0.00%	249,212	997,150,161
2017/11/14	4,038	-0.27%	3,991	-0.25%	0.02%	255,247	1,018,575,289
2017/11/15	3,952	-2.14%	3,906	-2.13%	0.01%	255,247	996,869,783
2017/11/16	4,003	1.29%	3,956	1.28%	-0.01%	255,247	1,009,654,930
2017/11/17	3,990	-0.32%	3,943	-0.33%	-0.01%	255,247	1,006,429,562
2017/11/20	3,952	-0.95%	3,905	-0.96%	-0.01%	255,247	996,787,926
2017/11/21	3,965	0.34%	3,918	0.33%	0.00%	255,247	1,000,092,526
2017/11/22	3,909	-1.42%	3,863	-1.40%	0.02%	255,247	985,908,299
2017/11/24	3,909	0.01%	3,863	0.00%	-0.01%	255,247	985,932,379
2017/11/27	3,858	-1.30%	3,812	-1.32%	-0.02%	255,247	973,065,786
2017/11/28	3,846	-0.31%	3,800	-0.31%	-0.01%	265,810	1,010,196,144
2017/11/29	3,834	-0.33%	3,788	-0.32%	0.01%	265,810	1,006,884,333
2017/11/30	3,818	-0.41%	3,772	-0.42%	-0.01%	273,355	1,031,177,527
2017/12/01	3,842	0.63%	3,796	0.64%	0.00%	273,355	1,037,644,797
2017/12/04	3,746	-2.50%	3,701	-2.50%	0.00%	273,355	1,011,712,490
2017/12/05	3,721	-0.67%	3,676	-0.68%	-0.01%	273,355	1,004,940,766
2017/12/06	3,701	-0.54%	3,657	-0.52%	0.02%	273,355	999,555,163
2017/12/07	3,769	1.84%	3,723	1.80%	-0.04%	273,355	1,017,803,637
2017/12/08	3,796	0.71%	3,749	0.70%	-0.01%	273,355	1,024,909,887
2017/12/11	3,849	1.39%	3,801	1.39%	-0.01%	273,355	1,038,974,138
2017/12/12	3,868	0.51%	3,820	0.50%	-0.01%	273,355	1,044,154,087
2017/12/13	3,929	1.57%	3,879	1.54%	-0.02%	273,355	1,060,367,954
2017/12/14	3,962	0.85%	3,912	0.85%	0.00%	273,355	1,069,291,611
2017/12/15	3,892	-1.75%	3,843	-1.76%	-0.01%	271,845	1,044,799,930
2017/12/18	3,919	0.69%	3,869	0.68%	-0.01%	271,845	1,051,858,062
2017/12/19	3,961	1.07%	3,910	1.06%	-0.01%	271,845	1,063,005,398
2017/12/20	3,948	-0.34%	3,897	-0.33%	0.01%	271,845	1,059,371,628

マザーズ・コア上場投信(交換に係わる交換口数)

※交換申込日(平成29年12月22日)、交換受付日(平成29年12月22日)分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数 : 1,511口

マザーズ・コア上場投信(設定ポートフォリオ)

※設定申込日(平成29年12月22日)、設定受付日(平成29年12月22日)分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	株式数
1	2121	ミクシィ	500
2	2438	アスカネット	100
3	2489	アドウェイズ	100
4	2497	ユナイテッド	100
5	3622	ネットイヤーグループ	100
6	3853	インフォテリア	100
7	3923	ラクス	100
8	4565	そーせいグループ	100
9	4813	ACCESS	100
10	6255	エヌ・ピー・シー	100
11	6532	ベイカレント・コンサルティング	100
12	7172	ジャパンインベストメントアドバイザー	100
13	7829	サマンサタバサジャパンリミテッド	200
14	8789	フィンテック グローバル	100
15	8914	エリアリンク	100

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1568)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

690,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

14,232,107,043 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

20,626 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.11 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXレバレッジ(2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1+2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXレバレッジ(2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXレバレッジ(2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・TOPIXレバレッジ(2倍)指数は、TOPIXが上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、TOPIXより大きく下落する傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXレバレッジ(2倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

TOPIXブル2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の買建玉 18年03月限	1,498 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	30,000 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1569)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,486,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

4,567,328,134 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

3,074 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.06 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXインバース(－1倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して－1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×(1－1倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXインバース(－1倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXインバース(－1倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の－1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の－1倍以上又は未滿となる場合があります。

・TOPIXインバース(－1倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXインバース(－1倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

TOPIXベア上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉
18年03月限

251 単位

開示基準日における追加申込
開示基準日における換金(解約)請求

0 口

0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1572)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『中国H株ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

80,000 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

1,128,787,106 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

14,110 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.65 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数の前日比変動率を2倍した指数です。ハンセン中国企業株指数の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されます。

※ハンセン中国企業株レバレッジ指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

注:ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数(以下、「原指数」といいます。)の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されるため、正確に2倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「2倍」としていることにご注意ください。

・ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、変動率が原指数の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の2倍以上又は未満となる場合があります。

・ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、原指数が上昇トレンドにある場合において、収益をさらに強く求める指標であるため、原指数の上昇を見込む場合には有用です。また、下落局面においては、原指数より大きく下落する傾向があります。

・レバレッジ型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指標と比較して指数のパフォーマンスが逡減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・円換算した原指標の動きと、円換算したレバレッジ型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

中国H株ブル2倍上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Future取引の買建玉
(開示基準日における取引を含む。)

17年12月限

270 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A：開示基準日の前営業日

B：開示基準日

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1573)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『中国H株ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

110,000 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

903,285,584 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

8,212 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.35 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率をインバース（－1倍）した指数です。ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率の－1倍のリターンを示します。ハンセン中国企業株指数（配当込）の－1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映します。

※ハンセン中国企業株ショート指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）（以下、「原指数」といいます。）の－1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映されるため、正確に－1倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「－1倍」としていることにご注意ください。

・ハンセン中国企業株ショート指数は、変動率が原指数の日々の変動率の－1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・ハンセン中国企業株ショート指数は、原指数が下落トレンドにある場合において上昇する指標であるため、ハンセン中国企業株指数原指数の下落を見込む場合には有用です。また、上昇局面においては、原指数の動きと逆に下落していく傾向があります。

・インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指数と比較して指数のパフォーマンスが逡減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・円換算した原指標の動きと、円換算したインバース型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

中国H株ベア上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Futureの売建玉
(開示基準日における取引を含む。)

17年12月限

109 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A：開示基準日の前営業日

B：開示基準日

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1579)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

900,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

19,855,483,710 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

22,062 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.32 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均レバレッジ・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)の2倍の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均レバレッジ・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均レバレッジ・インデックスは、日経平均が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、日経平均より大きく下落する傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均レバレッジ・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ブル2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の買建玉
18年03月限

1,736 単位

開示基準日における追加申込
開示基準日における換金(解約)請求

0 口

0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1580)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

3,692,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

16,314,003,284 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

4,419 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.17 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均インバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)の逆の変動率(－1倍の変動率)で指数が動くよう設計されています。

※日経平均インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均インバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の逆(－1倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・日経平均インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均インバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ベア上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 18年03月限	710 単位
-----------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	20,000 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1356)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

3,970,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

9,447,420,601 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,380 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.09 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXダブルインバース(−2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して−2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1−2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXダブルインバース(−2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXダブルインバース(−2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の−2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの−2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の−2倍以上又は未満となる場合があります。

・TOPIXダブルインバース(−2倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXダブルインバース(−2倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

TOPIXペア2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉 18年03月限	1,033 単位
-----------------------------------	----------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	20,000 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1360)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ベア 2 倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場 E T F の上場受益権口数
(開示基準日現在)

10,910,000 口

2. 上場 E T F の純資産総額
(開示基準日現在)

33,256,216,155 円

3. 上場 E T F の一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

3,048 円

4. 上場 E T F の一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.31 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均ダブルインバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)とは2倍の逆(マイナス2倍)の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均ダブルインバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍の逆(－2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の－2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の－2倍以上又は未満となる場合があります。

・日経平均ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均ダブルインバース・インデックスは増減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ベア2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉
18年03月限

2,913 単位

開示基準日における追加申込
開示基準日における換金(解約)請求

0 口
口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1467)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

30,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

367,054,644 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

12,235 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.24 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400レバレッジ・インデックス(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400(配当なし)(以下、「JPX日経400」といいます。)の前日比変動率(%) * に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値 = 前日の指数値 × (1 + 2倍 × JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400レバレッジ・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・JPX日経400レバレッジ・インデックスは、JPX日経400が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、JPX日経400より大きく下落する傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400レバレッジ・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の買建玉 18年03月限	456 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1468)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ベア上場投信（インバース）』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

580,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

4,192,256,858 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

7,228 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.13 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400インバース・インデックス（対象指数）は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400（配当なし）（以下、「JPX日経400」といいます。）の前日比変動率（%）* に対して－1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率（%）は、小数第3位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×（1－1倍×JPX日経400の前日比変動率）

※JPX日経400インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400インバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の逆（－1倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・JPX日経400インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400インバース・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

JPX日経400ベア上場投信(インバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 18年03月限	2,604 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1469)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成29年12月20日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

140,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

661,911,843 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

4,728 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.26 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400ダブルインバース・インデックス(対象指数)は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400(配当なし)(以下、「JPX日経400」といいます。)の前日比変動率(%)*に対して-2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1-2倍×JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍の逆(-2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の-2倍以上又は未滿となる場合があります。

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400ダブルインバース・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

JPX日経400ペア2倍上場投信(ダブルインバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉
18年03月限

823 単位

開示基準日における追加申込

0 口

開示基準日における換金(解約)請求

0 口